

新校舎竣工記念式典 学校長式辞

本日は、本校新校舎竣工記念式典にあたり、公私ともにご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、心よりお礼申し上げます。

また、平素より本校の教育活動に温かいご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げますとともに、今後とも茨田中学校を見守っていただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和五年一月より始めました旧北館の建て替え工事が、本年三月に無事完成いたしました。このように皆様とともに新しい学び舎の門出をお祝いできますことを、心からうれしく思います。

新校舎は地上五階建てで、普通学級教室・特別支援学級教室を合わせて十九室、理科室・美術室・音楽室・調理室など十室の特別教室を備え、充実した教育環境が整いました。加えて、給食室や保健室、事務室、管理作業員室も新たに整備され、快適さと安全性、そして機能性を兼ね備えた施設となっております。これらの施設には、単に新しさや快適さだけでなく、「これからの時代を生きる子どもたちに、よりよい学びと成長の場を」という願いが込められています。

本校では、「夢や希望を持ち、自らの力で未来を切り拓く生徒の育成」を教育目標に掲げています。これからの社会は、グローバル化やデジタル化が急速に進み、かつてないほど変化の激しい時代を迎えています。人工知能やロボット技術の発展、環境・平和・人権といった地球規模の課題など、正解のない問いに向き合う場面が数多く現れることでしょう。

そうした中で求められるのは、知識を詰め込むことではなく、自ら考え、行動し、他者と協働して新しい価値を創り出す力、よりよい解決策を見いだす力、そして自分の生き方を主体的に描く力です。

新しい校舎は、まさにそのような力を育む学びの場です。明るい教室では、仲間と意見を交わしながら、ICT機器を活用した自ら考える学びを進めることができます。理科室や美術室などの特別教室では、体験的な活動を通して「知ることの喜び」「創り出すことの楽しさ」を味わうことができます。ここで過ごす日々が、生徒一人ひとりの「自らの力で未来を切り拓く」ための確かな土台となることを願っています。

また、この新しい学び舎には、「共に生きる」ことの大切さも込められています。互いに学び合い、認め合い、高め合いながら学ぶ中で、自分の良さに気づき、仲間の違いを尊重しながら成長していく。そうした温かい人間関係こそ、どんな時代になっても変わらぬ教育の原点であり、この学校が大切にしてきた文化でもあります。誰もが安心して学び、関わり合える学校づくりを通して、子どもたちは「共感」と「協働」の大切さを学んでいきます。

この新しい学び舎が、友と語らい、先生と心を通わせ、自分の可能性に挑戦する「夢をはぐくむ場所」となることを、心から願っています。

今日のこの日を迎えるまでには、多くの方々の支えがありました。長年にわたり茨田中学校を温かく見守ってくださった地域の皆様、日頃から教育活動にご理解とご協力をくださる保護者の皆様、新校舎の建設にあたりご尽力くださった関係者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

そして、旧校舎で長い年月を過ごし、多くの思い出を残してくれた卒業生の皆さん、茨田中学校を支えてこられた歴代の校長先生をはじめ教職員の方々にも、心からの敬意と感謝を申し上げます。

この新校舎の完成は、私たちにとって一つの節目であると同時に、新たな出発点でもあります。ここからまた、新しい歴史を紡いでいくのは、今を生きる生徒の皆さん一人ひとりの力です。私たち教職員も、子どもたちの可能性を信じ、心を合わせて教育活動に取り組み、地域と共に歩み、地域に誇れる学校づくりを進めてまいります。

結びになりますが、本日ご臨席の皆様のご健勝とご多幸を祈念するとともに、この新しい学び舎が、未来を担う子どもたちの学びと成長の礎となることを願い、式辞といたします。

令和7年11月8日
大阪市立茨田中学校長 齋藤 慶二